

「骨を強くする薬剤による副作用、顎骨壊死の予防について」

歯科口腔科 顎口腔外科

本邦では骨そしょう症やリウマチなどの患者さんに対して、骨を強くする薬剤（ビスフォスフォネート）が広く使用されています。

ビスフォスフォネートは骨を強化させることで変形を防ぎ、健康な生活を維持するために、とても大切な薬剤です。



瀬上夏樹 教授



石橋浩晃 准教授

しかし、まれにビスフォスフォネートを使用している患者さんの顎骨に壊死が生じることがあります。一旦生じた壊死は徐々に拡大することが多く、強い炎症を伴って進行し、治療が難しくなります。

そこで、大切なことは、顎骨壊死の発生を予防することです。そのためには、ビスフォスフォネートの使用を開始する前に、必要な抜歯などの歯科治療を終了させておくことと、使用中に口腔ケアを継続することが重要です。

歯科口腔科では地域の医院や歯科医院と密接に連携して、顎骨壊死の発症予防に努めておりますので、対象の患者さんがおられましたら、是非ご相談・ご紹介ください。



(問い合わせ先)

〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学一丁目一番地

TEL 076-218-8219 FAX 0120-076-286

金沢医科大学病院

地域医療連携事務課

regional@kanazawa-med.ac.jp

Kanazawa Medical University Hospital